

たすけあい名古屋

通信第126号

看取り難民と在宅医療

前号に続き、名古屋市高齢者日常生活支援研修からの話題です。

前号は生産年齢層の減少、高齢者の増加と若い世代の社会保障負担が大きくなる日本の社会保障の根底にある問題点の話でした。人生の最期をどこで迎えるかについては、自宅の畳の上で、とは誰もが望んでいることと思いますが、厚生省が調査したデータによると、下のグラフのように14年後には最期の場所が見つけれない看取り難民が、約47万人も出てくるとのことです。これは医療機関の病床数は増やさないとこの前提です。現状では約8割の人が病院で最期を迎えています。

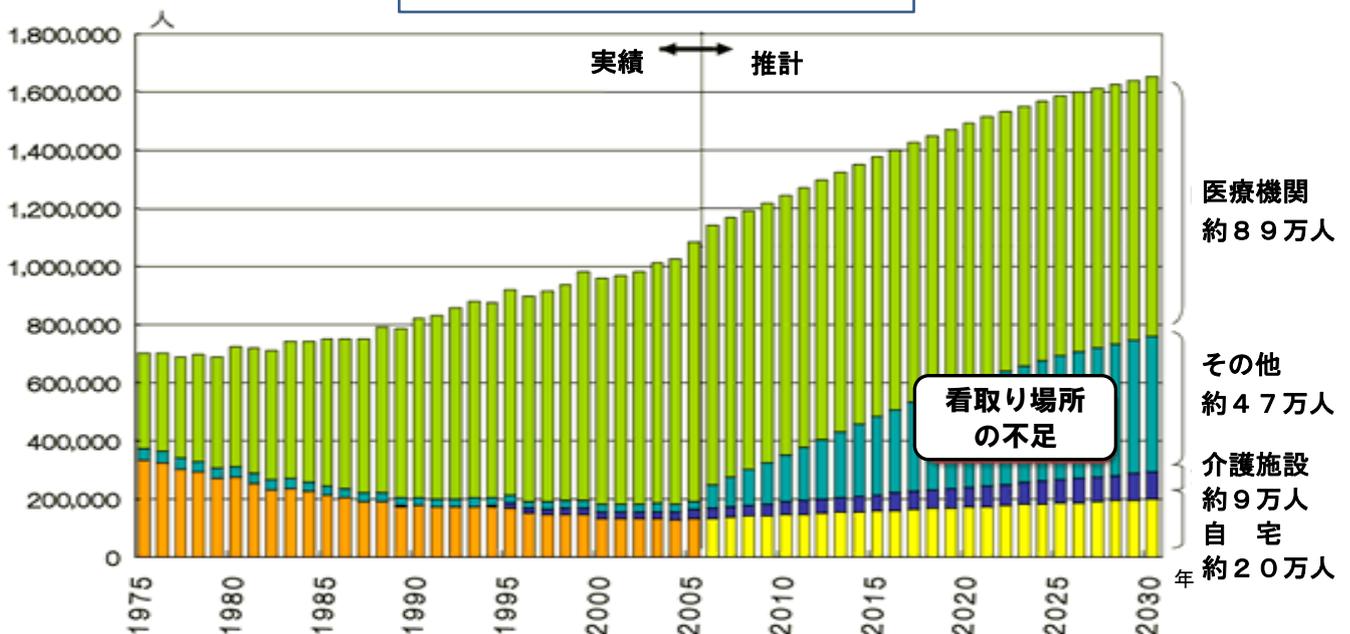
団塊世代が後期高齢者になると、死亡者数も急激に増加していきます。特養などの公的な介護施設の増加に大きな期待はできません。慢性期病院の病床数を増やすことは、そのまま医療費の増加、社会保障費の増加につながってしまいます。このままでは間違いなく看取り場所が不足し、看取り難民が増加します。大きな病院での看取りが期待できないのであれば、これからは自宅での看取りが増えざるを得ません。従って在宅訪問医療・地域包括ケアに力を入れていかなければならないのが、これからの社会保障制度改訂の考え方です。



独居もしくは老夫婦のみの世帯が増加しています。かつて、近所の広告看板に「遠くの親戚より近くの質屋」との宣伝文句がありました。これからは先のことを考えると「遠くの親戚より近くの在宅医療・介護」と変えなくてはなりません。

（代表理事 西川 達夫）

死亡場所推移（全国推計）



利用者さんの玉手箱☆…「たすけあい名古屋」をご利用くださっている

ご利用者のコーナーです。ご利用者にも通信に参加して頂くため、俳句、和歌、詩、短編小説、また「たすけあい名古屋」に対するご意見ご要望、などご紹介していきます。

川柳

S・N

きりの山 かすんでみえる 美しさ

やよい月 紅梅の花 咲き乱れ

紅梅に むらがる鳩 とびたちて

紅梅に 小鳥 さえずり 目がさめる

※S・N様は、十年來の「けあプラン鳴子」「介護みどり」のご利用者です。

いつも明るく、笑顔でヘルパーを迎えて下さいます。自室から見える四季折々の景色を川柳にして、ノートに書き留めてみえます。

一番のお気に入りには、冒頭の句です。朝起きた時に見えた景色の一瞬の美しさに自然と出てきたそうです。



職員研修に参加して

7月の研修は、医療法人あいち診療会 リハビリテーション科 言語聴覚士 野津 清 先生をお招きし、「嚥下障害と誤嚥性肺炎」というテーマでお話しをして頂きました。

従来食べ物の誤嚥で誤嚥性肺炎が起きることがよく知られていましたが、嚥下能力が低下してくると唾液でも誤嚥が起き、肺炎らしい症状もないままゆっくり進行し、重症になってしまう事があるとわかりました。大変気づきにくいので介護者は「何となく元気がない」「何となく食欲がない」というサインを見落とさないよう配慮することが必要です。

誤嚥性肺炎の予防には、口腔ケアなどで免疫機能を向上させることと、呼吸リハビリテーションを行って肺炎を予知することが大切だということでした。

私たち介護職員も今までとは少し観点を変えて、ご利用者と接する必要があることを学ばせて頂け充実した研修でした。(デイサービス 生活相談員 村上 雅代)

以前の研修の復習や介護の基本を織り交ぜ、とてもわかりやすい講義に引き込まれた「あっという間の60分間」でした。呼吸リハビリテーションや終末期の嚥下については、初めてのお話でとても興味深く、考えさせられることが多くありました。

機会がありましたら是非また、先生の講義をお聴きしたいと思います。

(介護みどり サービス提供責任者 川口 典子)

障がい者総合支援だより



7月8日(金)、7月12日(火)の二日間は、「生活介護かるむ」の年に一度のビックイベント!!!今年も、みんなで頑張ってお仕事をして貰った工賃をコツコツ貯めて、鈴鹿サーキットのプールに行ってきました。2日間とも曇りや雨が降ってしまい良い天気とは言えませんでした。そんなことはまったく気にしていないようで、車内でもプールに到着してからウキウキした様子でした。

素早く着替えを済まして、いざプールに!!ウォータースライダーや流れるプールを楽しみました。昼食は近くのお店でカレーや焼きそば、うどんなどそれぞれ自分の好きな物を選んで食べました。帰りには、みんなで、車内で仲良くおやつを食べながら「かるむ」に帰りました。

今年のビックイベントもご利用者、スタッフ共々、大満足のレクとなり大成功を収める事ができて良かったです。
(生活介護かるむ 支援員 咲山 美穂)

ウォータースライダー
いっぱい乗った!!!
たのしかったなあ♪



鈴鹿サーキットにて



お詫びと訂正

平成28年6月15日に発行された、たすけあい通信164号の「障がい者総合支援だより」に以下の通りに間違いがございました。

謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

訂正箇所

【就労移行支援】

(誤)『就労継続支援A型とB型を利用する方は、まずは就労移行支援を利用し評価を行なった後に、各サービスの利用となります。』

(正)『就労継続支援B型を利用する方は、まずは就労移行支援を利用し評価を行なった後に、各サービスの利用となります。』

就労支援継続A型を利用する方は、卒業後すぐに利用する事ができます。

(児童デイかるむ 管理者 奥山 善仁)

地域交流 鳴子学区夏祭り

今年も鳴子学区の「夏まつり」が、7月30日(土)に鳴子中央公園にて開催されました。

「たすけあい名古屋」は“たません”と「のん・たん」との“マフィン”の模擬店を出店しました

当日は、例年以上のにぎわいでお店の前には行列もでき、盛況の中、完売致しました。「両方ともすごくおいしかったよ!」とのお声も頂き、暑い夏の夜を地域の方々と共に楽しみました。
(たすけあい名古屋 お祭り委員会)



デイサービス鳴子だより



毎年の恒例行事となっているスイカ割り！今年も座布団に載せられた大きなスイカめがけ、みなさんには、棒を振り下ろしていただきました！なんとスイカは、デイサービスのスタッフの自宅で獲れたものです。土作りが上手なのでしょう？自宅で獲れたとは思えないほど大きくて、甘いスイカに、毎年感激させられています。

それに加え、今年の夏は、デイのテラスが少しにぎやかになりました。青シソ、茄子、オクラ、ゴーヤなどの実がなり、お散歩のついでにみなさんが覗かれ、成長を見守っておられます。いつかデイサービスのテラスで、スイカができればいいですね～。（管理者 須原 久美子）



スイカ割り
ナイスです！



デイサービスのテラス

健康体操・卓球クラブ・グラウンドゴルフだより

なごやかモデルの一環として、名古屋学院大学リハビリ科の学生による60才以上の健康体操・卓球クラブ・グラウンドゴルフ参加者に対する体力測定会（7月7日）・測定結果報告会（7月21日）を実施致しました。参加者は東教室、西教室合わせて68名で所狭しと大盛況の人気ぶりでした。

学生も2会場で計33名が参加し、ほぼご利用者2人に学生1人で、濃密なコミュニケーションがとれ参加者も大いに満足された様子でした。

測定結果は、大半の方が標準年齢より若く出て、日頃の健康体操・卓球・グラウンドゴルフへの参加の効果があったと実感していました。この催しは毎年実施（今年で3回目）する予定です。皆さんも健康体操・卓球・グラウンドゴルフに参加しませんか？

（指導責任者 吉葉 俊治）



たすけあい名古屋 なるこふれあい祭り お知らせ

今年もデイサービス鳴子で「なるこふれあい祭り」を、10月16日（日）に開催いたします。

新品・未使用品でバザーに寄付して頂ける品がありましたら、9月30日（金）までにご協力お願い致します。

詳細は ☎899-0833 たすけあい名古屋事務局

ホームページをご覧ください

たすけあい名古屋

検索



特定非営利活動法人（認定NPO法人）たすけあい名古屋

代表理事 西川 達夫

〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町四丁目13番地 愛知県住宅供給公社鳴子第1住宅

TEL 052-899-0833 FAX 052-899-0800

Eメールアドレス：info@tasukeainagoya.com